

二〇二四年九月刊行予定

太ったレディが歌うとき

オペラの歴史は
こう教わるもの

When the Fat Lady Sings

デービッド・バーバー著 石坂 廬訳

四六判・並製・二八〇頁 本体二五〇〇円＋税 [予価]

原書は初版から10年で6万部超のベストセラー！
世界中のオペラファンを楽しませてきたバーバーの
ユーモアオペラ史、待望の初邦訳。

オペラは難しくも堅苦しくもない！40年にわたるオペラの歴史を、退屈な
枝葉部分はスパッと切って、ユーモアたっぷりにお届けします。

イタリアのカストラートたちの運命、ヘンデルとソプラノ歌手との大喧嘩、
プッチーニのニコチン中毒……役には立たないけれど興味深い情報を織り
混ぜながら、オペラ史のツボはしっかりと押さえます。面白いけれどもた
めになり、不謹慎ながらも愛のあるバーバー流の音楽史の世界へようこそ！
この本を読めば、きっとあなたもオペラと親しくなれるはず！



目次

- 序文 モーリーン・フォレストラー／アンナ・ラッセル
- 1 流行の始まり
モンテヴェルディと音楽愛好家のグループ
- 2 一段上
カストラートは理性の玉を失う
- 3 真面目なおどけ
オペラ・セリアとオペラ・ブッフア
- 4 フランス育ち
リュリ、ラモ、グルック／ビゼー
- 5 イギリス海峡
ヘンデル
- 6 チュートン人のチューンスミス
ハイドン／モーツァルト／ベートーヴェン
- 7 ロシア人の参入
グリムカ、五人組、そしてチャイコフスキー
- 8 隠された示導動機
ヴァーグナー
- 9 イタリアのソーセージ製造機
ヴィヴァルディ／ロッシニ／ペツリーニ／
ドニゼッティ／ヴェルディ／プッチーニ
- 10 エピローグ——二〇世紀の残り物

著者・訳者プロフィール

● 著者・デービッド・バーバー (David W. Barber)
カナダ出身の作家・ジャーナリスト・音楽家。ナショナル・ポ
スト紙などの編集者を経て、現在はポスト・メディア・ネットワー
ク社のアーツ・アンド・ライフ部門で副編集長を務めている。作
曲家としても活動し、トロント室内合唱団などで合唱にも参加し
ている。著書は、『バツハ、ベートーヴェンと少年たち (If It Ain't
Bach, Beethoven and the Boys)』『バロックじゃないなら (If It Ain't
Baroque)』(ともに未邦訳) など。

● 訳者・石坂 廬 (いしがき・いおり)
一九四六年関東州大連市(現中国東北部)生まれ。早稲田大学卒業。
日本火災海上保険に勤務の後、笹川平和財団等に勤務。現在稲門
グリークラブ、日本ラトヴィア音楽協会、六声会の各会員。訳書
に『トスカニーニ 身近で見たマエストロ』『マリアン・アンダー
スン』(ともにアルファベータブックス)がある。

この本は実に聡明で素晴らしい読み物です。そして学校で音楽を
学ぶ子供たちがこんな風に教わると良いのと思うのです。
——モーリーン・フォレストラー (カナダ出身・往年の名アルト歌手)

番線印	<h2>太ったレディが歌うとき</h2> <p>デービッド・バーバー 著／石坂 廬 訳 定価本体 2.500 円＋税 [予価] ISBN 978-4-86598-116-2 C0073</p>	冊数
-----	--	----